

白河市 議会だより

2025.2.4

10月臨時会
12月定例会

VOL.78



10月6日、東釜子本町地区にある琴平神社境内に於いて、伝統行事の琴平奉納相撲が開催されました。琴平相撲は今から約230年前から続いており、神社社殿の火災、東日本大震災、コロナウイルス感染症などにより、4回の休止の時期がありましたが、復活を願う地域住民の熱い思いや、多くの皆様のご支援を受け、今年は従来の琴平相撲に復活開催を果たすことができました。

東地域の五穀豊穰、安寧秩序そして疫病退散の願いを込めて、釜子地域9町内会長による迫力ある取り組みや、こども相撲の取り組み、一般相撲取り組みで、観客の皆さんを魅了していました。

はるばる岩手県盛岡からの参加もあり、大いに盛り上がりました。

〈令和6年10月臨時会・12月定例会〉

目次

・令和7年乙巳今年の抱負	2～3 p
・10月臨時会	4 p
・12月定例会	4～6 p
・各常任委員会の審査	7～8 p
・行政視察リポート	9 p
・一般質問	10～13 p
・請願	13 p
・勤労感謝の日訪問/議員活動スナップショット	14 p
・白河市町内会連合会と市議会との意見交換会	15 p
・3月定例会予定/小学生が議会を傍聴/編集後記	16 p

いあいさつ

議長 石名国光

今年は巳年です。干支である蛇は古来より金運や幸運を招くと言われています。本年が皆様にとって飛躍の年となるよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、議員による職員へのハラスメント行為があり、議会政治倫理審査会の報告を受け、4月24日の臨時会で「議員辞職勧告」を全会一致で決議しました。さらに、9月定例会で「市議会ハラスメント防止条例」を全会一致で可決、制定しました。議会として、この度の一連の事態を受け、改めて議員一人ひとりが襟を正し、市民から信頼される議会を目指し、邁進してまいります。

さて、我が国では、急速に進む少子高齢化の影響による担い手不足が社会問題化しており、市内の事業所でも、同様の事態が広がっております。

また、能登の地震・豪雨被災は、東日本大震災と原発事故を思い起こさせ、改めて災害に備えた体制づくりが重要であると認識いたしました。

世界に目を向けますと、いまだ収束の兆しが見えないウクライナや中東での紛争は、遠く離れた我が国においても、物価高騰などの影響を与え続けております。

市議会としても、社会情勢の変化・市民の声などを的確に捉え、行政とともに課題の克服に向け、全力で取り組んでまいります。

市民の声を
市政に活かす



永山 均

市民に信頼される
議員を目指し
頑張ります



遠藤 公彦

白河が大河となりて
栄ゆく



植村 美洋

皆さんの
声をかたちに
日々前進



大木 絵理

スポーツ振興で
子供たちへの環境
づくりと健康増進!!



吉見 優二郎

日々是好日。
はい！喜んで!!



鈴木 裕哉

笑顔が輝く
市政伸展に
寄与して参ります



高畠 裕

健康で
笑顔絶えない
まちづくり



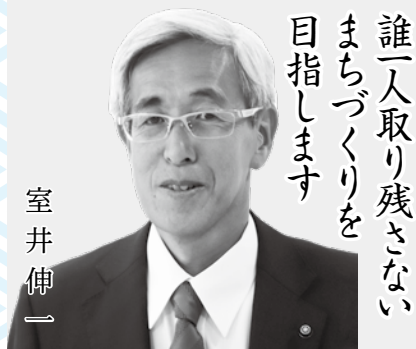
佐川 琴次

シン・白河の
夜明け
希望の一步



戸倉 宏一

誰一人取り残さない
まちづくりを
目指します



室井 伸一

魅力ある農業へ
頑張ります

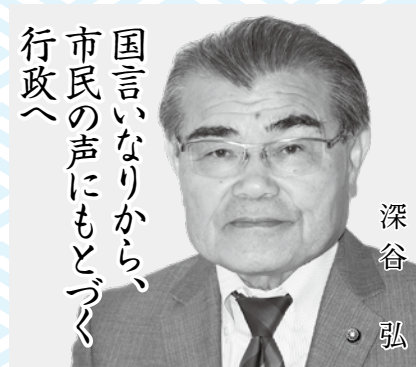
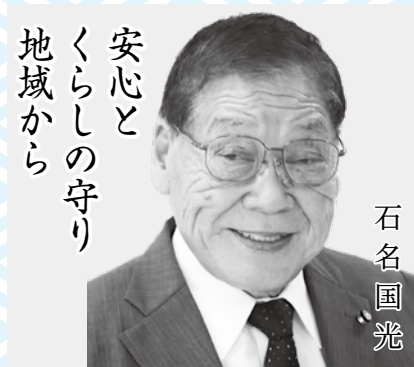
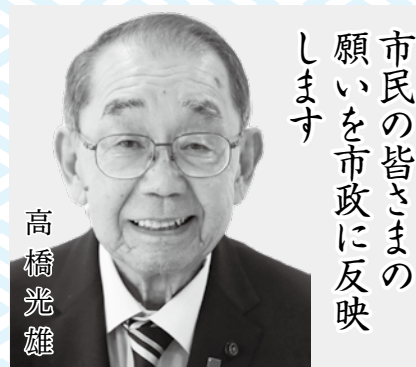
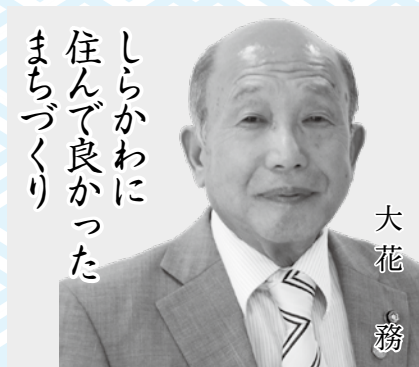


根本 建一

助け合い支えあう
白河をめざします



緑川 摂生



10月臨時会

10月議会臨時会が、10月25日、1日間の会期で開かれました。鈴木和夫市長より専決処分の承認を求める議案の提案理由説明があり、市長提出議案3件がいずれも原案のとおり承認及び同意されました。

●議案第69号 専決処分の承認を求めることについて 〔令和6年度白河市一般会計補正予算（第3号）〕

9月8日の大雨により被災した施設の復旧に要する経費

《災害復旧費》

- ◇農業用施設単独災害復旧事業（現年災） 1,750万円
小田川、大和田、大信中新城地区など42ヶ所（法面崩落など）
- ◇道路橋りょう単独災害復旧事業（現年災） 280万円
小田川地区6ヶ所（法面崩落など）



専決処分とは、地方公共団体の長が、本来は議会が議決すべき事項を、議会を通さずに決定することです。行政運営の遅れや滞りを防ぐため、緊急な場合などに例外的に行われます。

●議案第71号 複合施設整備事業立体駐車場建設工事請負契約について

複合施設整備事業 立体駐車場建設工事の概要

- ①工 期 議会の議決を得た日から令和7年9月10日まで
- ②契約金 8億6,350万円
- ③契約の方法と契約の相手方 制限付一般競争入札、県南・兼子特定建設工事共同企業体
- ④施設概要 構 造：鉄骨造2層3段
駐車台数：182台、高さ：9.9m
延床面積：3,464.31㎡
建築面積：1,895.59㎡



12月定例会

12月定例会が、12月5日から12月18日までの14日間の会期で開かれました。一般質問では10名の議員がそれぞれ市の考えを質しました。（10～13ページ）

市長提出議案は27件で、令和6年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事案件などを審議し、いずれも原案のとおり可決及び同意されました。

今号では提出議案の内容（4～6ページ）、賛否が分かれた白河市下水道条例等の一部を改正する条例に関する討論（6ページ）、各常任委員会審査報告（7～8ページ）請願書（13ページ）を主にお知らせします。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案……………27件
（うち人事案件……………2件）
- ◆討論 …………… 1件
- ◆請願 …………… 1件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



予算 PICK UP

◆議案第84号 令和6年度一般会計補正予算(第5号)

工業団地維持管理事業 2,108万5千円

表郷に新たな工業団地を造成

企業誘致に係る用地が不足してきたことから、新たに表郷地域の市有地を産業用地として造成するため、地質調査および測量調査に要する経費を計上する。

- 場 所 表郷堀之内字堀ノ内
- 面 積 約1.5ha
- 実施期間 令和6年度～令和8年度(予定)

◆議案第92号 令和6年度一般会計補正予算(第6号)

物価高騰重点支援給付金事業 1億7,360万5千円

物価高騰支援、住民税非課税世帯とその世帯のこどもに給付金

物価高騰の影響を受ける低所得世帯を支援するため、住民税非課税世帯に3万円、その世帯のこども一人あたりに2万円を給付する。

- 住民税非課税世帯 5,100世帯 給付金 1億5,300万円(事務費797万4千円)
- 住民税非課税世帯のこども 600人 給付金 1,200万円(事務費63万1千円)

議案 PICK UP

◆議案第79号 白河市下水道条例等の一部を改正する条例

一般下水道使用料が令和7年10月から一律11.2%値上げ

本市の下水道事業の運営は、独率採算の原則に基づき、使用者より納めていただくことを基本としているが、汚水処理にかかる経費をまかなうことができない状況にある。持続的かつ安定的に下水道事業の運営をしていくため使用料の改定をする。

現行の使用料体系(一般污水・公衆浴場污水)の基本汚水量と超過汚水量区分を変更せず、基本使用料単価と超過使用料単価を一律改定11.2%とする。ただし、公衆浴場污水の超過使用料は据え置きとする。

No.	市 名	20m ³
1	田 村 市	4,180
2	いわき市	3,500
3	喜 多 方 市	3,390
4	伊 達 市	3,333
5	須 賀 川 市	3,190
平 均		3,073
6	郡 山 市	3,066
7	本 宮 市	2,950
8	福 島 市	2,860
8	会津若松市	2,860
8	相 馬 市	2,860
11	白 河 市	2,838

県内13市の状況
(一部掲載)
改定後



No.	市 名	20m ³
1	田 村 市	4,180
2	喜 多 方 市	3,702
3	いわき市	3,500
4	伊 達 市	3,333
5	須 賀 川 市	3,190
6	白 河 市	3,157
平 均		3,122
7	郡 山 市	3,066
8	本 宮 市	2,950
9	福 島 市	2,860
9	会津若松市	2,860
9	相 馬 市	2,860



賛 成

永 山 均 議員

人口減少や節水機器の普及、施設等の老朽化に伴う更新需要の増大など、下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。将来にわたり安定した事業運営を行うため、令和2年度に地方公営企業法を適用した企業会計へと移行し、事業損益や資産状況に基づいた経営に取り組んでいる。

現状は、特別会計から企業会計に移行したばかりという事情はあるにせよ、使用料は、国の指針を下回り、また繰り出し金についても、資本費のみならず営業収益で賄うべき処理費用などの維持管理費まで、基準を超えた、約10.5億円(令和5年度決算)を一般会計から拠出するなど、健全な事業経営とは言えない状況にある。

こうしたことから、将来にわたり持続可能な下水道事業を確立する上で、使用料の引き上げは当然必要な措置であり、また、今回の改定率は、本来23%程度上げるところ、市民生活に与える影響を十分に考慮し11.2%としていることから、この度の条例改正に賛成する。

反 対

深 谷 弘 議員

この条例は下水道使用料を一律11.2%引き上げようとするものである。その理由として、下水道使用料収入の減少、施設設備の維持・管理コストの増加、更に、今後設備更新費用の増加が見込まれるが、現在の下水道使用料体系では、汚水処理に係る経費を賄うことができず、一般会計からの補助を受けないと下水道経営を維持できないことを挙げている。また、国の指導・方針により、令和2年度から、独立採算の原則に基づき、下水道使用料を基本とする運営(公営企業会計)に切り替えられている。令和元年度までの下水道経営は、特別会計で行われ、一般会計からの繰出金に依存する運営が行われてきた。考えなければならないのは、賃金が上がらず、年金が減らされるなか、物価高騰が市民生活を圧迫している。今後更なる物価上昇が予測されるなか、下水道使用料引き上げのタイミング・引き上げ幅は妥当なのか、慎重な検討が必要なのではないか。少なくとも市民の納得を得られる提案をすべきである。

議員評決結果報告(賛否がわかれたもののみ記載)

議 案 名 ※○は賛成 ●は反対 ※議長(石名国光)は採決に加わらない	永山 均	遠藤 公彦	植村 美洋	大木 絵理	吉見 優一郎	鈴木 裕哉	高畠 裕	佐川 琴次	戸倉 宏一	根本 建一	室井 伸一	緑川 摂生	柴原 隆夫	菅原 修一	北野 唯道	水野谷正則	佐川 京子	藤田 文夫	大花 務	高橋 光雄	大竹 功一	筒井 孝充	深谷 弘
議案第77号 白河市産業プラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第78号 白河市ゴルフ場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第79号 白河市下水道条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第88号 白河市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第89号 白河市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第92号 令和6年度白河市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
請願第6号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出について※	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○

※詳しくは13ページを御覧下さい。

人事案件

教育委員会委員・公平委員会委員の任命に同意

白河市教育委員

たか はし あきら
高 橋 顕 氏(みさか)

任期
4年



地域の学校教育、社会教育等に関する機関である教育委員会の委員。本市は4名の委員で構成されています。

白河市公平委員

すず き しげ ひさ
鈴 木 茂 久 氏(一番町)

任期
4年



職員の利益保護と公正な人事権の行使を保障するために地方公共団体の長から独立した地位を有する機関である公平委員会の委員。本市は3名の委員で構成されています。

総務 常任委員会

コミネス・東文化センターの指定管理者が決定

議案第78号「白河市ゴルフ場条例の一部を改正する条例」のほか、議案11件が付託され、いずれも原案の通りを可決されました。

● 議案第73号 白河市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例 教育委員会所管の「公民館に関すること」、「スポーツに関すること」を市長部局に移管

Q | 移管の理由は？

A | 公民館は令和9年4月に開館する複合施設内に生涯学習センター（仮称）として移行を予定。移行後は、市民の交流や活動を促す地域づくりの拠点として、社会教育事業の枠を超えた取り組みを展開することから、開館準備や移行を円滑に進めるため移管する。スポーツについては、健康増進やまちづくりに果たす役割を踏まえ、スポーツ振興と健康増進、地域づくりなど関連施策との連携強化を図り、一体的な事業展開、迅速な意志決定等を行うことにより、効率的な行政経営を推進しようとするため移管する。

● 議案第80号 白河文化交流館及び白河市東文化センターの指定管理者の指定について 指定管理者を特定非営利活動法人カルチャーネットワークとする

● 議案第84号 白河市一般会計補正予算（第5号）

白河文化交流館指定管理業務委託及び白河市東文化センター指定管理業務委託（債務負担行為補正）11億2,354万7千円

Q | 内訳は？

A | 令和6年度から令和11年度まで、白河文化交流館コミネスが10億3,707万4千円。東文化センターが8,647万3千円。



市民産業 常任委員会

人材育成センターの使用料を改正

「議案第77号 白河市産業プラザ条例の一部を改正する条例」のほか3件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

Q | 議案第77号 白河市産業プラザ条例の一部を改正する条例について

A | 人材育成センターの使用料について、地球温暖化や異常気象により通年で冷暖房を使用している状況を踏まえ、冷暖房費を含んだ使用料に変更するとともに、人材育成センター内のコワーキングスペースに新たに法人向け料金を設定し、更なる利用促進を図るため、所要の改正を行う。

Q | 議案第81号 白河市大信地域市民交流センターの指定管理者の指定について

A | 指定管理者を「株式会社シンコウアグリ」、指定期間を「令和7年4月1日から令和10年3月31日まで」とする。

● 令和6年度白河市一般会計補正予算

Q | 「地域担い手確保支援事業補助金」について

A | 事業費388万円のうち、補助対象が371万4千円。そのうち10分の3の111万4千円を県が、10分の1の37万1千円を市がそれぞれ補助する。

部活動地域移行支援事業費増額

議案第84号 令和6年度白河市一般会計補正予算（第5号）のほか、議案7件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第84号 令和6年度白河市一般会計補正予算（第5号）

放課後児童クラブ運営費について

Q | 人材派遣会社への手数料は、具体的にどのような内容か。

A | 12月から、みさか小児童クラブに1名、表郷小児童クラブに1名を配置するため、人材派遣会社へ支払う手数料である。

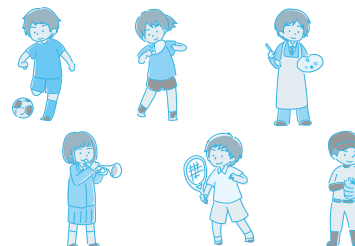
部活動地域移行支援事業について

Q | 部活動地域移行支援事業の増額補正の金額は、必要となる額全額が県から支給されるのか。

A | 県から支給される予定である。

部活動地域移行支援事業

少子化などにより部員数が減少傾向にあること、休日の指導等により教員の負担が大きいこと、また、専門的な指導が可能となることから、部活動地域移行を推進する。今年度からモデルケースを試行し、条件の整った活動から順次実施の予定。市では、休日の部活動を段階的に地域の方が指導する「しらかわ地域クラブ活動」に移行する。



下水道使用料の改定

議案第79号 白河市下水道条例等の一部を改正する条例ほか議案6件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第84号 令和6年度白河市一般会計補正予算（第5号）

Q | 小峰城史跡整備事業の建設工事費が増額となった理由は

A | 清水門復元整備工事で積み増しする石材の大きさ等を変更するため。

● 議案第79号 白河市下水道条例等の一部を改正する条例

改正の理由

人口減少などによる下水道使用料収入の減少、さらには施設の老朽化や物価高騰などにより維持管理コストが増加している。将来にわたり持続的かつ安定的に下水道事業を運営する必要があることから使用料を改定する。

改正の内容

現行の使用料体系の基本汚水量と超過汚水量区分を変更せず、基本使用料単価と超過使用料単価を一律改定11.2%の増額とする。



白河市マンホールカード

総務常任委員会

～ 行政視察レポート～

所管事務調査の一環として10月28日から29日まで、青森県むつ市及び岩手県滝沢市にて行政視察を実施しました。

〈参加者〉委員長 戸倉 宏一 副委員長 大木 絵理
委員 筒井 孝充 委員 緑川 摂生
委員 室井 伸一

むつ市住民パスポートで暮らし快適事業

DXで暮らしをより快適に

市民がアプリを使用してさまざまな住民サービスを受けられる住民パスポート事業は、子どもからお年寄りまで、暮らしの利便性を向上させる事業でした。年齢や世帯に合わせたお知らせ機能、医療受給者証の表示サービス、優待サービスが受けられるシニアカード・市民優待カード表示は、市民から「助かっている」との声が多数あり、本市の施策にも参考になる事業でした。



滝沢市「第2次滝沢市総合計画」

地域ごとに住民が計画を策定

「やさしさに包まれた滝沢」がこの総合計画の掲げる目標。市民主体の地域づくりの中心となる地域別計画があり、コーディネーターを中心に住民自らが計画を策定しています。本市の総合計画の幸せ度数を重視するウェルビーイングのまちづくりと近い考えである総合計画であり、参考になりました。



滝沢市交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」

市内外から人が集まる自由な複合施設

大きな白い屋根が特徴的な施設。大ホールをはじめ音楽スタジオ、クッキングスタジオ、親子で自由に入れるキッズルームの他、市立図書館とたきざわキッチンという産地直売所とレストランが併設されている。館内は飲食・飲酒が可。大ホールや小ホールは音楽関係の発表のみならず、車やバイクの展示会もおこなわれるなど、自由で柔軟な視点が人気の秘訣だと感じました。本市の複合施設建設にあたり大変参考になる施設でした。



建設水道常任委員会

～ 行政視察レポート～

所管事務調査の一環として11月11日から13日まで、香川県丸亀市及び奈良県大和郡山市にて行政視察を実施しました。

〈参加者〉委員長 鈴木 裕哉 副委員長 永山 均
委員 水野谷正則 委員 大花 務
委員 遠藤 公彦

香川県丸亀市

【大手町地区4街区再編整備構想】

大手町地区4街区とは、お城に隣接した広大な市の所有する管理地に市の庁舎、市民交流センターなどの公共施設が集約されており、さらに、その敷地内に生涯学習機能や児童館を複合させた新たな市民会館の建設が進められていました。庁舎に隣接する市民交流センター、通称「マルタス」にはイベントスペース、キッズスペースの他、カフェも整備されており、この施設の指定管理者は本市が予定しています複合施設の管理運営を担う事業者と同じことから、本市の複合施設事業の完成形を生で見ること、今後の中心市街地の整備において大いに参考になるものでした。



奈良県大和郡山市

【国指定郡山城の保全と活用】

城郭建築再建事業の説明を受け、併せて現地での視察研修を行いました。城郭内にある「追手門」は昭和58年に市民による城郭整備の機運が高まり、築城400年を記念して復元されたもので、本市の進めている小峰城「清水門」復元事業において大変参考になるものでした。





◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。

◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。

◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

一般質問

12月定例会では10名の議員が一般質問を行いました。

本会議のネット中継及び録画配信を行っています。

ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



12月定例会において延べ32名の方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

誰もが安心して生活し続けられる白河市に

「支援シート」を活用し、高齢者の終身サポートに努める



佐川 京子 議員



Q 単身高齢者世帯が増加しているが、誰もが安心して生活し続けられる白河市とするため、本市の対策について伺う。

A 本人の意思で治療行為や介護サービスが受けられるように「支援シート」の活用を検討している。これは緊急連絡先や医療・介護の方針の同意や身元保証、本人の医療や介護ケアの考えをまとめたもの、死後の葬儀・納骨・遺品整理について本人の希望をまとめたものである。国も「高齢者等終身サポート事業者ガイドライン」を策定した。

Q きつねうち温泉の集客増を目指し地域のポテンシャルを活かして欲しいが、当施設の今後の方向性について伺う。

A この10月に料金の見直しをした。また専門家による専門性の高い経営分析とアドバイスを受け、民間企業のノウハウと知見を活用していく。



きつねうち温泉

Q 旧五箇中学校の跡地利用について現在の検討状況を伺う。

A 行政利用を基本に検討中。教室の一部を当面寄贈絵画や埋蔵文化財の保管庫として使用。またサテライトオフィスや文化施設、農業支援施設、防災倉庫等様々な活用案を調査・研究中である。校庭や体育館、音楽室の貸し出しも調整中。

移住政策は体制づくりと目的の明確化

情報発信と効果的な施策の実施



植村 美洋 議員



Q 来年のNHK大河ドラマに対する取り組みの進捗状況について伺う。

A 「白河市大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会」の年内設立に向けて準備を進めている。

Q 関の森公園整備計画について進捗状況を伺いたい。

A 来年度は今年度の調査を踏まえ、交流センター等の基本設計を実施する予定。

Q 移住・定住事業においては、連絡会などの体制づくりが必要ではないか。

A 関連する部署と連携を強化していくとともに、部を横断する組織など情報共有し、取り組んでいく。

Q 移住事業においては、ターゲットを絞った事業のやり方が必要ではないか。

A ターゲット層と本市の取り組みが移住に結び付くような施策を実施していく。

Q 行政内容の多様化・高度化とともに、さらなる職員の専門研修が必要ではないか。

A 現在も高度な知識の習得に取り組んでいるが、今後も研修機会を確保しながら、人材の育成に努めていく。



将来を見据えた財政運営をどのように進めるのか？

将来世代の負担を考慮し、具体的な議論を進める



遠藤 公彦 議員



Q 本市の公共施設等の維持管理費や深刻な少子高齢化問題、物価高騰など諸課題が山積しているなか、将来を見据えた財政運営をどのように進めていくのか市長に伺う。

A 公共施設の統廃合については、老朽化や利用状況人口の推移を踏まえ、本市の適正規模や将来世代の負担なども考慮し、さらに具体的な議論を進めていく。



市立図書館

Q 災害時に通常の電気が遮断等により防災行政無線が使用不能となった場合の通信手段・情報伝達手段の方法について伺う。

A 屋外の拡声器は、非常用電源に自動で切り替わり3日間使用できる。情報伝達手段は、広報車による巡回などで対応する。

Q 本市の小中学校の敷地内にある樹木について、倒木等による事故から児童生徒を守るために、定期点検と状況に応じた伐採の実施状況について伺う。

A 11月末現在で小学校20本、中学校3本を伐採している。児童生徒はもとより教職員や保護者、周辺住民の安全確保を図るため継続して取り組んでいく。

第50回衆議院選挙結果と石破政権に期待するものは

石破カラーを前面に出してほしい



戸倉 宏一 議員



Q 衆議院選をどのように捉え、石破政権に期待するものを伺う。

A これまでの官邸主導の決められる政治に比べ時間がかかる。国民もそれを受け入れる許容力が必要。石破総理には論客として鳴らした石破カラーを貫き、主流派から総理に上り詰めた氏にしかできないことを期待。103万円の壁の見直しに見られる様に税制見直しは有効だが、税収が減少し行政のサービスの低下が懸念される。今後国勢の動向に注視し、全国市長会等と連携し意見を訴えていく。

Q 生ごみの現状と排出増加による焼却炉への影響について伺う。

A 令和4年度の可燃ごみの排出量は一人一日当たり1026グラムでそのうち約35パーセントが生ごみ。水分を多く含んだごみを焼却炉に投入すると温度



西白河地方クリーンセンター

が下がり炉を傷める。また下がった温度を上げるために燃料が必要となり、二酸化炭素の排出量が増加する生ごみの削減について必要性を広く周知する。

Q 学校における食育について伺う。

A 給食の際、好き嫌いせず食べ、食べ物を作ってくださった方々に感謝するよう指導している。

感震ブレーカーを普及させるために助成事業を行ってみては

先進自治体の支援制度や効果などについて調査・研究する



室井 伸一 議員



Q 感震ブレーカーを普及させるための助成事業について伺う。

A 感震ブレーカーは種類が多く、どのタイプを取り付ければ良いか分かりづらいうことや、住宅密集地では全体的に設置が進まなければ効果が低いこと、夜間災害の場合に照明機能が失われることへの不安があること、オートロック付き住宅では玄関のドアが開かなくなり避難に支障がでる恐れがあることなど、様々な要因により普及が進んでいない。こうしたことから、国は感震ブレーカーの設置に関する対策会議を開催し、今後の方向性について議論を重ねているため、国の動向を注視していく。

Q 家庭や飲食店などから出る使用済み食用油を、飛行機の燃料として再活用されるSAFについて伺う。

A 既存のジェット燃料と比べ二酸化炭素の排出を大きく削減できる燃料としてSAFが注目されている。廃食用油は、肥料飼料、石鹸などの原材料としても再利用できるため、先進的な自治体の取り組みも参考にしつつ、調査・研究を進める。

SAF(Sustainable Aviation Fuel)って何？

廃食用油
ごみ
穀物
微生物など
からできるバイオ燃料

化石燃料に比べ約80～80%のCO₂削減効果

農業従事者確保のために何が必要か

新たな担い手を確保・育成していく



均 議員 永山



Q 農業者の高齢化・後継者不足が深刻な課題となっている。農業従事者確保のために何が市長に伺う。

A 家族経営も継続的に支援しながら、新たな担い手を確保・育成し、農業の持続的な発展につなげていく。



Q 野生鳥獣による農作物被害を防ぐため、今後も一定数の有害鳥獣捕獲隊を確保するには、今以上のハンターが必要である。ハンター育成の方策について伺う。

A 狩猟免許や猟銃所持許可に関するパンフレットを作成し市民に周知するなどして、広く情報発信を実施していく。

Q 大信地域では、昔からタクシー業者が無かったためタクシー利用に慣れていない。白河市所有の公共タクシーとして、大信庁舎に常駐させてはどうか。

A 公共交通整備について検討していく。

Q 大信地域自主運行バスを、週2回白河の市街地へ向かう買い物バスとして利用出来ないか伺う。

A 地域の特性や需要に応じた交通体系づくりに努めていく。

耕作放棄地の現状と課題について、市の考えは？

地域の皆さんと知恵を出し合いながら、拡大防止に努める



琴次 議員 佐川



Q 耕作放棄地の現状と課題について伺う。

A 市場主義的要素が取り込まれ、農地の集積・集約が進み、一方で条件の悪い農地が耕作されなくなり、高齢による離農者の増に至った。現在各地区で将来の担い手や農地利用の在り方を協議し、結の精神で、耕作放棄地の拡大防止に努める。

Q 衆議院選挙の投票率を伺う。

A 当日有権者数48,692名、投票者数26,261名投票率54%。期日前投票者数1,695名で投票全体の45%。

Q 移動手段の無い方への支援体制を伺う。

A 市循環バスや予約型乗り合いタクシーなどについての周知や、移動式期日前投票所導入を検討。

Q 障がいのある方への支援体制を伺う。

A 誰もが投票しやすい環境にする為、解かりやすいパンフレットを作成する。

Q 敬老会の対象者数と参加人員を伺う。

A 対象者白河地域6,724人、表郷1,064人、大信681人、東850人、参加者白河地域316人、表郷地域55人、大信地域53人、東地域39人。

Q 総括と、今後の敬老会のあり方を伺う。

A 検討委員会にて今後の敬老事業を議論。



デマンドタクシーによる移動、市の状況は？

広域的移動は、タクシーから路線バス等へ乗り継ぎが必要



功一 議員 大竹



Q 西郷村のデマンドタクシーは、白河市内の病院や商業施設などへも移動ができるかと聞く。市ではどうか。

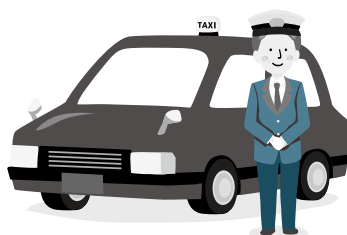
A 広域的移動については、乗合タクシーから路線バスなど既存の交通機関も併せて利用していただく。

Q 各地区間の移動の際に乗り継ぎが無いようにはできないか。

A 既存の交通機関も合わせて利用いただくことにより、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを構築しようと考えている。各地域間を自由に移動するには多くの課題があり、今後検討していきたい。

Q 市民の方から、「図書館内において、所蔵本等の一部を市民に配布しているが、どうしてか」との問い合わせを受けた、どのような経緯か。

A 寄贈図書の状態や蔵書の構成を勘案し、蔵書に加えるものと破棄するものを分別し、破棄するもののうち、まだ利用できるものをエントランスに特設コーナーを設けて年に一度、必要とする方に自由に持ち帰っていただく形で配布している。



新年度予算で学校給食費無償化実現を

財源の継続的な確保が必要・国の一律無償化の動きを注視

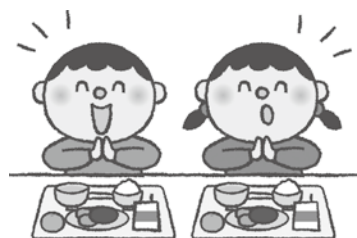


深谷 弘 議員



Q 去る11月14日「学校給食を無料にする白河の会」が1891筆の署名を提出、請願行動を行った。学校給食費無償化は市民の切実な要求である。福島県の全額無償化自治体が59・3%、全国的にも3割を超え、大きな流れとなっている。しかし、市長は実施しているのは「ほとんど小さい自治体」と述べ、大きな都市はなかなか踏み切れないと言いつけています。（実際には人口の多い郡山市でも実施している）問題は、首長の判断・やる気ではないか。学校給食費無償化の意義をどう考えているか。

A 学校給食費無償化の意義は、子育て世代の経済的負担の軽減にある。本市は給食費の一律無償化を否定しているわけではない。収入の少ない世帯や多子世帯など「真に支援が必要な世帯」の給食費は実質無償としている。所得が多い世帯も含めた一律無償化がいいのかという問題がある。一律無償化の場合、財源の継続的な確保が必要となる。国の一律無償化の動きを注視しながら、慎重に議論していく必要がある。



本市に人工芝サッカー場の新設を望む声、市の考えは？

施設整備の有無や諸条件について内部で検討中



大木 絵理 議員



Q 公立幼稚園の昼食提供、アンケート結果と実施状況は？全園完全給食化を望むが今後の展望は？

A 9割の保護者がお弁当給食を希望。令和4年度に比べ2園でお弁当給食の回数増。施設の再編等を含め検討する。

Q 在宅血液透析患者へ助成拡充を！

A 当事者や医療機関等関係者の声を聞き、調査研究を進める。

Q 本市に人工芝サッカー場新設を望む声が多い。市の考えは？

A 施設整備の有無や実施する場合の諸条件等を内部で検討している。

Q 中学入学時に配布するヘルメット、使わずもったいないという声がある。配布の見直しをするべきではないか？

A 校長会などで調査研究する。



福島市十六沼公園の人工芝サッカーコートを視察

Q 複合施設の市民交流機能、既存の施設との違いは？利用可能な設備、備品の設置は？

A 諸室の活動を可視化し、来館者が興味関心をもつ環境。団体やサークルを対象に有料ロッカーを整備。備品は今後検討を進める。

請願

請願第6号

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出について

【請願項目】

- 1、最低賃金法を全国一律制度に改正すること
- 2、労働者の生活を支えるため、最低賃金についてただちに1,500円以上を実現すること
- 3、最低賃金の引き上げができ、経営が継続するように、中小企業・小規模事業所への支援策を抜本的に拡充・強化すること

【審議内容】

審査では、物価や生活にかかる経費は首都圏の都市部と地方とでは大きな差異があり、最低賃金を全国一律の制度とすることは困難であるため、不採択とする意見や、最低賃金を上げることは良いが全国一律とすることについての是非、及び直ちに最低賃金を1,500円とすることは、地域の小規模事業所の経営が困難となるなどの課題があるため継続審査とする意見、また願意は妥当であり政府も最低賃金の制度を願意の方向に動き始めていると感じるので採択すべきだとの意見もあった。採決の結果、継続審査、採択とも賛成少数となり、不採択とすべきものと決した。



※表決結果については6ページをご覧ください。

白河市町内会連合会役員と市議会議員（三役及び各委員会正副委員長）との

意見交換会

「令和6年度白河市町内会連合会役員と市議会議員との意見交換会」は、令和7年1月10日、全員協議会室で次の議題で開催され、意見交換を行いました。



議題

町内会の運営、その他市政全般に係る課題や問題について



■白河市町内会連合会

会 長 矢内 文一氏(二枚橋・日の出町内会)
副会長 安田 好伸氏(本町町内会)
須藤 善夫氏(三番町町内会)
幹 事 市川 勝正氏(旭町町内会)
人見 勝二氏(北真舟町内会)
関 健一郎氏(田町町内会)
会 計 高橋 健司氏(緑ヶ丘町内会)



■市議会議員

議 長	石名 国光
副議長	佐川 京子
議会運営委員長	室井 伸一
副委員長	大竹 功一
総務常任副委員長	大木 絵理
市民産業常任委員長	高畠 裕
副委員長	根本 建一
教育福祉常任委員長	吉見優一郎
副委員長	佐川 琴次
建設水道常任委員長	鈴木 裕哉
副委員長	永山 均



市議会議長及び町内会連合会会長の挨拶の後、出席者全員が自己紹介をし、議題について意見交換を行いました。町内会役員のなり手不足・高齢化及び加入率低下や企業の流出、少子化により複式学級が見込まれる学校の早期統合、敬老会の開催方法、武道館の早期移転、高校生の郡山方面への流出減少対策、カメラ設置や警察との連携による防犯対策の強化、民間アパート入居者のごみ分別指導方法などの問題提起があり積極的に意見交換が行われ、今後も町内会と議会が連携して課題解決に向け協力していくことを確認しました。

3 月定例会の予定 正式には開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

2月27日(木)	本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
3月5日(水)	本会議【一般質問・質疑1日目、委員会付託(請願・陳情)】
3月6日(木)	本会議【一般質問・質疑2日目】
3月7日(金)	本会議【一般質問・質疑3日目】
3月10日(月)	本会議【総括質疑、委員会付託(議案)】
3月11日(火)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
3月12日(水)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
3月13日(木)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
3月17日(月)	本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。

こちらのQRコードを読み込んでください。



自分の目で見て感じる体験を 小学生が議会を傍聴



小野田小学校6年生8名が、12月13日に議会傍聴に訪れ、一般質問を行う議員と市長の真剣なやりとりを一生懸命メモを取りながら見学しました。

白河市議会では未来を担う児童生徒の皆さんの議会見学を心よりお待ちしております。



議会報編集委員会



大木絵理

永山均

佐川琴次

根本建一副委員長

佐川涼子委員長

大竹功一

委員 佐川琴次

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。議会だより第78号をお読みいただき誠にありがとうございます。

表紙に掲載されています、琴平奉納相撲は東釜子地域の伝統行事で、約230年前から継承されています。災害等により何度か中断しましたが、昨年復活開催されました。力強い取り組みが繰り広げられ、観客は大いに盛り上がりました。地域の宝として今後も継承されていくことを願っています。

今年の干支は、巳年で復活と再生の象徴の年と言われています。

新たな自分に生まれ変わる再スタートできるチャンスの年でもあります。何事にもチャレンジ精神を持って行動したいものです。

結びに、本年が市民の皆様にとって、災害の無い平穏な一年になるよう願っております。